

森田の想い

埼玉県議会定例会報告会

埼玉県議会6月定例会が、6月17日(火)から7月4日(金)まで開かれました。議会初登壇から一年。ますます熱く県政のため奮闘します!!



●新たに高等養護学校が開校したが、学力の向上、精神面における教育や技術向上の教育など、どのように力を入れて教育を行っているのか。

〈教育委員会委員長答弁要旨〉

職業教育に重点を置き、一般就労100%を目指している。専門的な知識や技能を習得させるとともに、あいさつができる生徒、最後まであきらめずに仕事をやり通せる生徒の育成に努めている。

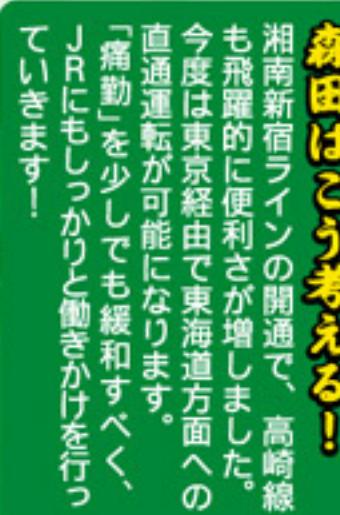
●企画財政部長答弁要旨

完成予定を平成25年度と承知している。継続して進捗状況を聴取し、工事の進行状況の把握に努め、1日も早い完成について、引き続きJR東日本に働き掛けていきたい。

●JR宇都宮線・高崎線の東京駅乗り入れ工事の今後の見通しについて

県はどのように把握しているのか。

湘南新宿ラインの開通で、高崎線も飛躍的に便利さが増しました。今度は東京経由で東海道方面への直通運転が可能になります。「痛勤」を少しでも緩和すべく、JRにもしっかりと働きかけを行っています!



略歴	趣味
昭49.9 熊谷市久保島に生まれる 広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校卒業 平5.3 埼玉県立熊谷高校卒業 平9.3 早稲田大学政経学部卒業 平11.3 早稲田大学院修士課程修了 平11.9 カナダ・マギール大学留学(1年間) 平15.4 県議選初挑戦(23票差で次点) 平17.3 早稲田大学院博士課程修了 平17.6 訪問介護ステーション開設 平19.4 県議選初当選(23,010票)	サイクリング(ママチャリ)、茶道、映画鑑賞、カラオケ、ものまね(3人娘)、座右の銘
現在 介護事業所代表、(社)熊谷青年会議所理事 (特)NPOくまがや理事、比較憲法学会、公法学会、法政学会員	一期一会

●観光庁発足に伴い、国や市町村とのように連携し、本県の観光振興を推進していくのか。また、本県観光をどのような方針で戦略的かつ効果的に推進していくのか。

〈子育て支援と少子化対策について〉

●企業及び保育所に子どもを預けている保護者へのワークライフバランスの働きかけについて、どう取り組むのか。

〈上田知事答弁要旨〉

実態調査を行うことにより、保護者がワークライフバランスの必要性に気づききっかけを作る。ストーリー・メッセージを作成し配布することにより、必要性を訴えていきたい。

〈森田はこう考える!〉

「障害者」と一言で言っても、一人一人が抱える問題というのは千差万別です。そしてその能力も十人十色です。その生徒には何ができるのかということをまず良く把握し、受け入れ先の企業、職種等をイメージしながら実践的な訓練を行いうことが必要ですね。いざ就職というときには、生徒の特性をよく理解した先生たちが企業への働きかけを行なうことも欠かせません!

〈上田知事答弁要旨〉

団塊の世代が持つ優れた知識や技術を活用して、活力ある埼玉を創り上げることが重要であると考えるが、知事の御所見を伺う。



農林予算について

〈4 保護者の1日保育士・幼稚園教諭体験について〉

●保護者の1日保育士・幼稚園教諭体験の意義並びに、これまでの実施状況と今後の取組と課題について伺いたい。

〈6 「人財」活用で活力のある埼玉を〉

団塊の世代の多くの方に様々な分野に参加してもらえば、共助の世界をつくる戦力になる。団塊世代活動支援センターを通じて、「人財」としての団塊世代に活躍いただきたい。

〈上田知事答弁要旨〉

農業者の所得向上と販路拡大につながる埼玉農産物のブランド化や安心安全な農産物の供給に力を入れている。生産性の向上を実現する取組を最大限支援していきたい。

〈上田知事答弁要旨〉

●農林予算が減少する中、時代の要請は食料の安心・安全、安定供給であり、格別の支援が必要であるが、知事の御所見をお聞かせ願う。

〈上田知事答弁要旨〉

農業者の所得向上と販路拡大につながる埼